

3 協働事業結果報告書

(2) 身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化事業

平成31年3月31日

江 東 区 長 宛

団 体 名 特定非営利活動法人江東区の水辺に親しむ会

団 体 所 在 地 江東区白河1-3-13-106

代表者職・氏名 理事長 飯田 俣子

協働事業結果報告書

平成29年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

事業名称	「身近な水辺を利用したセーリングの啓発による地域活性化事業」
事業の実施期間	30年 4月 1日 ~ 31年 3月 31日
実施事業の概要 ※詳細については「具体的事業内容」に記入し、ここでは要約して欄内に収まるように記入してください。	本協働事業は、身近な水辺を利用したセーリング体験を通じ、こどもから高齢者、障害者まで世代等の隔てりなく交流する機会の創出を目的として、小型ヨット乗船講習会を開催した。(協力:(一社)セイラビリティ東京、夢の島マリナー)併せて、江東区の豊かな水辺と緑に恵まれた環境や地域の魅力を安全に楽しむ啓発イベントとして「KOTO・2018・水と緑のフォーラム ー水辺と緑に恵まれた豊洲の魅力発見!」を開催した。(協力:東京ガス(株)東部支店、がすてなーに ガスの科学館、豊洲運河ルネサンス協議会、豊洲町会、江東 CIG ビジョン推進会議、青少年対策豊洲地区委員会)
具体的事業内容 ※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。	<p>1. ヨット乗船講習会</p> <p>(1) 開催日: 5/26(土)、6/23(土)、7/21(土)、8/11(土)、9/22(土)、10/14(日)</p> <p>(2) 開催時間: 午前の部 9:00~11:30 午後の部 13:00~15:30</p> <p>(3) 開催場所: 豊洲ぐるり公園乗船場付近の水面 (通称: 東電堀)</p> <p>(4) 参加対象: 第1~4回は小学生、第5、6回は一般を含む</p> <p>(5) 参加者数: 計 152人</p> <p>(6) 実施内容: ヨット操船(実技)、実用的なロープワーク(実技)、安全教育(浮いてまで=水難学会推奨)</p> <p>(7) 配布物: 黄色のTシャツ(江東区のロゴマーク入り、小学生の安全用)、「小型ヨット「ハンザ」ビギナーズクラス テキスト Vol.1」</p> <p>2. 「水と緑のフォーラム」の開催</p> <p>(1) 開催日: 11月17日(土) 13:00~15:30</p> <p>(2) 会場: がすてなーに ガスの科学館 クイズホール</p> <p>(3) 参加者数: 40人</p> <p>(4) 実施内容(当日配布プログラム参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話題提供 Sailing for Everyone ハンザ開発者 クリス ミッチェル 水辺と緑と都市の共生 江東区土木部 CIG 推進係 諏訪正晃 東京湾岸地域づくり 芝浦工業大学教授 志村秀明 情報提供 東京ガス(株)東部支店長 中塚千恵 ● パネルディスカッション ーみんなで水辺を楽しむー 志村秀明(コーディネーター) 藤原治郎(セイラビリティ東京代表)、曾根陽子(パラセーリングアスリート) 斉藤 隆(川に学ぶ体験活動協議会事務局長)、諏訪正晃 <p>※閉会后、海側芝生ひろばにて船の工作教室開催(定員30名) ※会場内にハンザを展示(2艇)</p>

<p>事業の成果</p> <p>※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。</p>	<p>健全者、障害者、老若男女誰でも乗れるバリやフリーのヨット「ハンザ」を利用した乗船講習会のねらいを、①「風を知り、それを活用する」セーリングを通し、子どもたちが都会の中にも自然があり、その中で暮らしていることを実感できること、②豊かな水環境に囲まれた江東区という地域の魅力を存分に味わってもらおう事で、自分たちが住む街への愛着と連帯感が育つこと、③水辺の安全と楽しみ方の両方を学んだ子どもたちが、その成長とともに、次世代へと「安全で楽しい水辺」の守り手となり、その重要性を伝えていくことと設定し、保護者も含め参加者に理解、体感していただいた。</p> <p>また、大人と子どもを対象とした回においては、視覚障害者、最高齢者79歳の方の参加もあり、幅広い参加者層に江東区の水と緑の環境を再認識していただいた。</p> <p>水と緑のフォーラムにおいては、豊洲エリアの企業ミュージアムや地域関係団体等の協力を得て、水辺を活かしたまちづくりの動き、パラカヌー競技者からみた江東区の水辺環境など、オリンピックパラリンピック後の豊洲地域の活性化についても考えるきっかけとなった。</p> <p>事業全体を通して、地域住民の水辺のスポーツ、交流の場と言う認識を共有できたことは事業の大きな成果と考える。</p>
<p>協働の効果</p> <p>※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。</p>	<p>区との協働により、今回の事業展開の場となった豊洲地域の住民、学校、企業、関係機関等との連携が円滑に進んだ。</p> <p>また、広報についても、当会だけでなく、区報や区HPを通じて広く区民に周知でき、多様な方々の参加が実現できた。</p> <p>誰でも参加できるセーリング体験をきっかけとして、今後の江東区の水辺のまちづくりのあり方などについて、身近な問題として引き続き行政と区民が考えていけるものと期待する。</p>
<p>今後の活動展開</p> <p>※この事業で取り組んだ課題に対し、貴団体は今後どのような活動を展開していきますか。</p>	<p>今後通称東電堀を利用した子どもたちの水辺のスポーツ活動としては、近隣小学校の課外活動として展開する予定である。また、環境にやさしい水辺のスポーツとして、健全者、障害者、高齢者など多様な人を対象とした講習会・乗船会の企画なども、今回の協力団体と連携しながら広げていきたい。</p> <p>そして、このような活動を含め、既存のまちづくり団体との連携や当会が事務局となって実施しているまちづくりイベント（水彩フェスティバル、リバーフェスタ等）の充実、発展を図り、江東区の水辺を日常的なコミュニティの場とする活動に寄与していきたいと考える。</p>
<p>自由意見</p> <p>※事業実施を通じて気づいたこと（新たな課題、実施体制、参加者の声等）を記入してください。</p>	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に障がいのある人も水辺のレクリエーション、スポーツに参加できるよう、棧橋のバリアフリー化、乗船用の簡単な着脱自在のリフトの設置、棧橋の近くへの艇庫、機材置き場の確保を望まれる。 ・防災棧橋は、通常施錠され利用されていないが、水路・棧橋の日常的な利用は、万が一の災害時の対応をスムーズにすることができる。災害を想定した避難訓練や防災教育観点からも、今後の棧橋設置においては、地域住民への開放は必要事項と考える。 ・今回は豊洲地域での水辺のレクリエーションの体験であったが、区内の他のエリアでも水辺のレクリエーションの機会を増やすための条件整備として、棧橋の設置は今後も必要であると考え。 ・今回の講習会においてほかの船舶との利用の競合に配慮して実施したが、さまざまな船舶の利用に対して、狭い水路での引き波、騒音に考慮したスピード制限など、安全航行や周辺住民への配慮を促す注意標識等の設置が望まれる。

※ 事業の成果物（冊子等）、参加者アンケートの結果、写真など、提出できるものがある場合は添付してください。なお、ご提出いただいたものは返却できません。

協働事業結果報告書 添付資料

1. 実施概要写真
2. ヨット乗船講習会 アンケート結果
3. 水と緑のフォーラム 2018 アンケート結果
4. ヨット乗船講習会 チラシ
5. ヨット乗船講習会 当日配布資料
6. 水と緑のフォーラム 2018 チラシ

実施概要写真

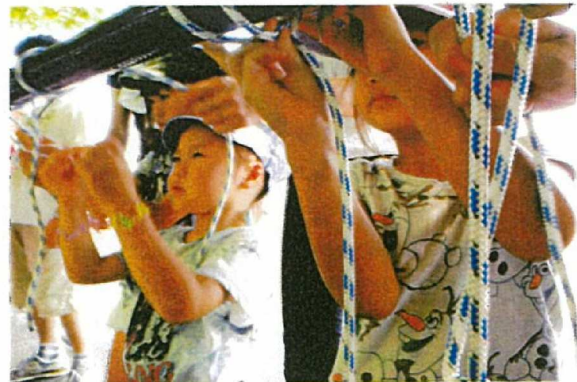
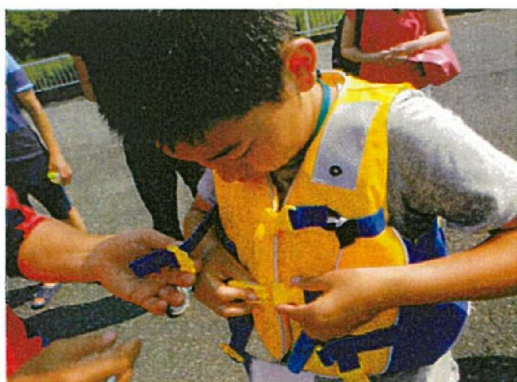
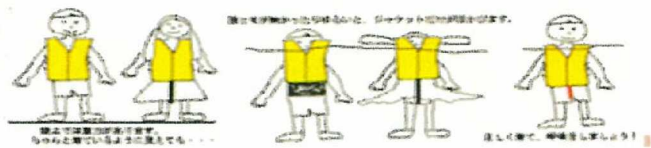
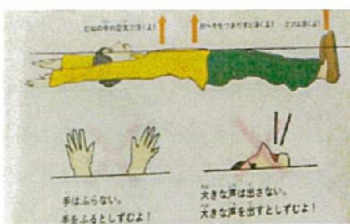
1. ヨット乗船講習会 開催状況



●操船実技



●安全教育



●修了証の授与（各講習毎、修了証を授与）



●配布物

Tシャツ（小学生の安全用）



テキスト（ビギナーズクラス）



2. 水と緑のフォーラム 開催状況

● 話題提供 (クリス・ミッチェル氏)



● パネルディスカッション



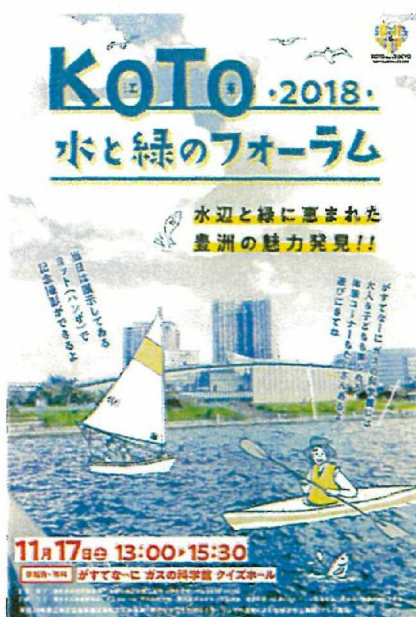
● ハンザ展示



● 船の工作教室



● チラシ



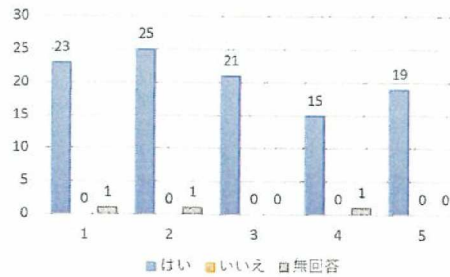
ヨット乗船講習会 アンケート結果 (6月~10月)

■回答者数

	1_6月	2_7月	3_8月	4_9月	5_10月
子供	24	25	21	16	19
大人	23	26	22	22	23
合計	47	51	43	38	42

【こどもたちへ】

1.ヨットが何をエネルギーにして動くかがわかりましたか

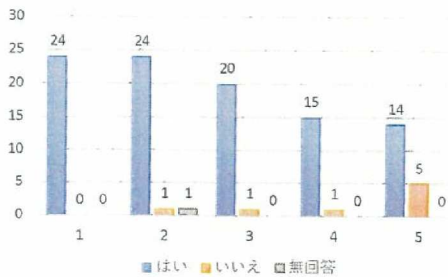


1.ヨットが何をエネルギーにして動くかがわかりましたか。

「風」 回答率100%

ヨット乗船講習会 アンケート結果 (6月~10月)

2.1ロープのむすびかたはうまくできましたか



2.2ロープを何に使いますか

6月	7月	8月
警察ごっこのときに手錠にする	いざという時	キャンプなどに使いたいです
キャンプ	秘密基地作り	急に固く結ばないといけないとき
洗濯ものを干す	困った人を助ける	人を助けるため
火事の時、将来人命救助をしたいから	災害の時	洗濯物干し
キャンプなどに使いたいです	キャンプの時	まんがいちの時
ペットボトルを投げる	テントの時	助ける
結びもの	海や川に落ちた時	舟をむすぶ
とられないようにくっつける	ロープどこかに結ぶとき	
テントをはるとき	海などにおぼれたとき	
ターザン	ヨットをとめるとき	
ペットボトルや浮くものを渡す	綱引き	
くつひも	いつもの8結びをかえたい	
工作など	荷作り	
荷物を結ぶ時	ディンギー	